

学生の進んで81年春向ワンピースの志向傾向について (第2報)
 東京家政大東院 木曾山かね、東京家政学院短大 今井保生
 愛知三河繊維技 〇志満津発司

目的 本学会、色彩、意匠部会の調査研究グループは、都内並びに近隣から通学する学生を対象に、自から着用したい「81年春向ワンピース」について調査したので報告する。

方法 対象 東京家政大学、被服科2年学生、89名、東京都内並びに東京都近隣より通学する学生
 試料 被検者が自から着用したい素材を購入、この生地を用いた「81年春のワンピース、シルエットを作出、且つ製作実習させたもの
 検討 春向き、ワンピース、ファッションを形成する基本的要素である色と型（ファッション）と素材について調査検討を行った。色については日立製自記分光光度計にて測色三刺げき値を求め検討した。

結果 学生の進んで81年春のワンピース志向色は暖色が多く、張手な、明るいトーンイメージが主力であり、市場流行色傾向よりやや明るさがある。
 型（ファッション）の好みは、ブランド、機能性重視、コンサバティブ志向が主体でトレンド、マイウェイ志向が少ない。
 素材は中厚地傾向の天然繊維が主体であり、生地組織については平織は挿染柄、綾織では地色志向が多い。